

会員の広場



虹色ポスト

安間 孝信（東京）

毎朝早起きの家内が点けたテレビで偶然この存在を知った。虹色ポストとは亡くなった人への手紙を書くというものである。

そしてそれを行っている所が家内の出身の静岡県富士市のお寺であった事もあり、思わぬのめり込むように見たのだった。

つもは中々筆が進まないのに、すらすらと思うがままに書けたそうで、投函した時はそれは晴れ晴れとしてすっきりしたと言っていた。勿論どんなことを書いたかは知らない。大方向毎日の孫の世話が大変で、その孫が大きく成って嬉しいが、時々生意気な事を云うとか私の悪口であろう。

虹色ポストが置いてある富士市の妙善寺は家内の実家にほど近く、この寺庭さんが妹のボランティア仲間で、更には先代の住職は家内の高校の恩師と分かり、急に身近に感じた。そんな訳で先日訪問することが出来た。

ちょうど桜が満開を少し過ぎた頃で、広い庭は一面に花びらを敷き詰め、明るい四月の午後の日差しの中で得も言われぬ素晴らしさ

虹色ポストを案内文に依り紹介する。
「大切な人を亡くされたみなさまへ」

あの人はどこへ行ってしまったのでしょうか？
それでも伝えたいこと ありませんか？

話したいことありませんか？

大切な方に手紙をだしてみませんか。」

家内は五年ほど前に両親を相次いで亡くした。この五年の間、我が家や実家にあつた様々な出来事、近所に居る孫の成長とお世話の事。そういった事を母に話したくなる時がしばしばあるようだ。そんな時にこの虹色ポストの存在を知ったという訳である。

早速家内は天国の両親に手紙を書いた。い

だった。本堂横の観音堂には白隠禅師の書に成る「常念閣」の扁額が懸かって居り、中々の由緒ある寺であった。

穏やかな笑顔で迎えてくれた寺庭さんはお茶を進めてくれて、全国から沢山の手紙がよせられること等を話してくれた。

虹色ポストに届いた手紙は開封することなく仏様にお示しし、その後お焚き上げをして供養してくれるそうで勿論無料である。

柔らかな光が差し込む静かなお寺の本堂でお話を伺いながら、しばし至福の時であった。

〒417-10852

静岡県富士市原田1344

臨濟宗妙善寺 虹色ポスト